

与那原バイパスの 工事・設計を 変更せよ



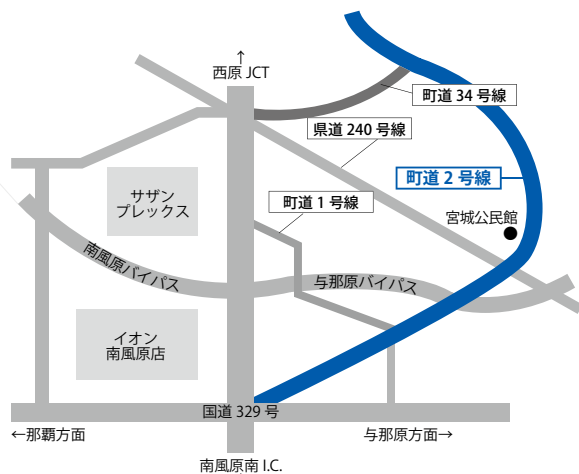
玉城 光雄 議員

問 与那原バイパスの本体工事が進められている。その工事構造面において町道2号線に平面タッチとなることから、道路横断の危険性が懸念される。即刻に設計変更をし、我が宮城の大きな声としてポツクスカルバートを町道2号線に設置し、区民の生命・財産を守ることができないか。

経済建設部長 南部国道事務所の説明は、計画は変更できないとのことだった。地域住民の道路横断における安全確保は、横断歩道の長さや形態を工夫していくと回答があった。

**町道2号線の改良工事を
急げ**

問 町道2号線は、県道240号線の抜け道となっており、通勤通学のラッシュ時の交通量が増えている。道路幅員も狭く、対面交通ができない非



改良工事を求める町道2号線とその周辺道路

常に危険な状況である。町道2号線の改良幅員工事を早期に図ることができないか。

経済建設部長 町道34号線へ誘導する方法で検討していきたい。

歩行者天国の実現を図れ

問 観光客誘致のため、我が町の特産物や沖縄の文化をPRするイベント会場や歩行者天国のアーケードが必要である。

国場川に蓋掛けをし、皆が集う商店街づくりができないか。

町長 国・県は自然環境を守る観点から、なるべく河川に蓋掛けをせず、自然を取り戻すという形に変わってきているため難しい。

美観に見合ったガードレールの設置を今に

問 町内に現在設置されているガードレールは、塩害や事故などで破損した危険なものも多く見受けられる。気候風土に合う国道と同型のこげ茶色とし、魅力ある観光地の形成を図ることができないか。

経済建設部長 観光ルートなど特定箇所の路線のみ、その改善に向けて防護柵設置時に検討していく。